マンスリーレポート

グローバル・ロボティクス株式ファンド
（予想分配金提示型）／（為替ヘッジあり・予想分配金提示型）

データは2026年10月30日現在

ロボティクスとは

センサー 感じる
AI（人工知能） 考える
ロボット 動かす

の3つの要素技術を束ねた総称です。

当ファンドのWebサイト

予想分配金提示型

為替ヘッジあり・予想分配金提示型

当ファンドのWebサイトからレポートやコンセプト動画などをご覧いただけます。

アモーヴァ・アセットマネジメントのWebサイトへ移動します。

ロボティクスの領域はより広く、より身近に

ロボティクスの活用エリアは、
あらゆる産業や生活のシーンで人々を支えるまでに、
広範かつ急速に拡大しています。
社会に不可欠なものとして、
人々と共存する存在になろうとしています。



※写真はイメージです。

労働力の代替手段のみならず、幅広い分野での普及拡大により

力強い成長が期待されるロボティクス関連企業



※上記はイメージ図です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

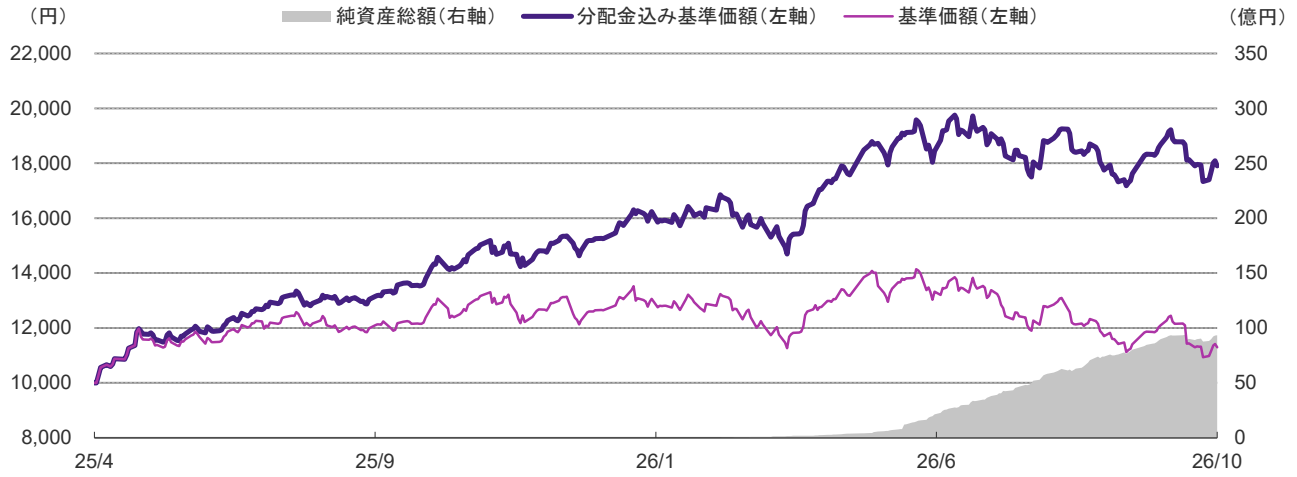
グローバル・ロボティクス株式ファンド（予想分配金提示型）

設　定　日：	2025年4月22日	償　還　日：	2035年7月13日	決　算　日：	原則、毎月15日
収 益 分 配：	決算日毎	基 準 価 額：	11,298円	純 資 産 総 額：	93.37億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

基準価額の推移



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-2.59%	-0.81%	1.64%	18.94%	-	79.07%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

分配金実績（税引前）

設定来合計	直近12期計	25･11･17	25･12･15	26･1･15	26･2･16	26･3･16
5,800円	4,200円	300円	400円	400円	300円	300円
26･4･15	26･5･15	26･6･15	26･7･15	26･8･17	26･9･15	26･10･15
300円	500円	400円	400円	400円	200円	300円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

資産構成比

株式		92.6%
	うち先物	0.0%
現金その他		7.4%

※「資産構成比」は、マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、純資産総額比です。

基準価額騰落の要因分解

前月末基準価額				11,903円
当月お支払いした分配金				-300円
要因	株式	-280円	為替	-6円
	米国	124円	アメリカドル	6円
	日本	-287円	ユーロ	-10円
	欧州	-116円	その他通貨	-1円
	その他株式	-2円		
	その他			-19円
	小計			-305円
当月末基準価額				11,298円

※欧州には、ユーロ圏の他、英国とスイスが含まれます。
※要因分解は、概算値であり実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

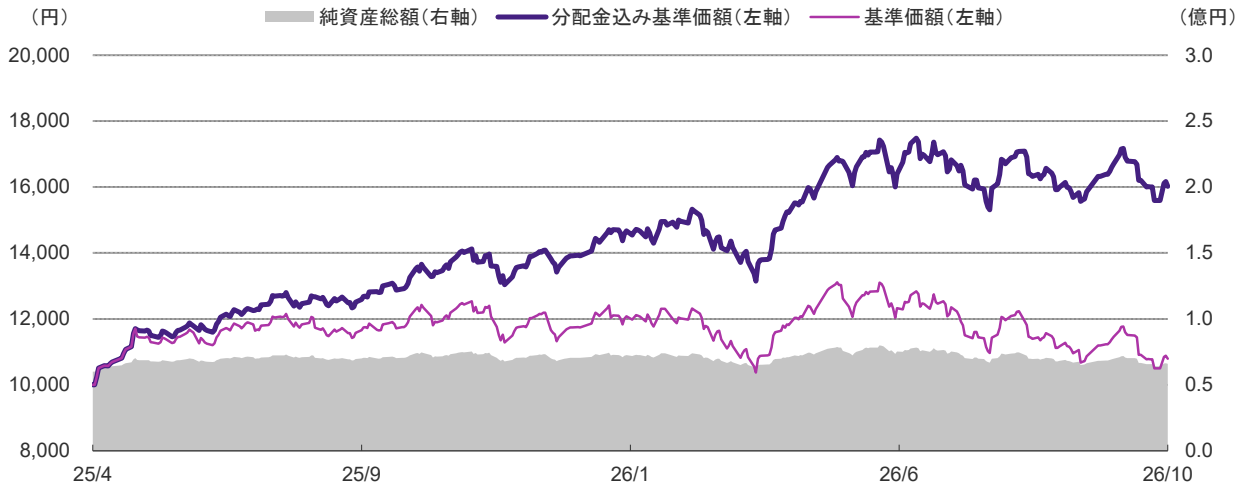
グローバル・ロボティクス株式ファンド（為替ヘッジあり・予想分配金提示型）

設　定　日：	2025年4月22日	償　還　日：	2035年7月13日	決　算　日：	原則、毎月15日
収 益 分 配：	決算日毎	基 準 価 額：	10,788円	純 資 産 総 額：	0.65億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

基準価額の推移



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-2.75%	0.33%	2.27%	14.36%	-	60.25%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

分配金実績（税引前）

設定来合計	直近12期計	25・11・17	25・12・15	26・1・15	26・2・16	26・3・16
4,700円	3,300円	300円	300円	300円	300円	200円
26・4・15	26・5・15	26・6・15	26・7・15	26・8・17	26・9・15	26・10・15
200円	400円	300円	300円	300円	200円	200円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

資産構成比

株式		92.3%
	うち先物	0.0%
現金その他		7.7%

※「資産構成比」は、マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、純資産総額比です。

基準価額騰落の要因分解

前月末基準価額		11,297円
当月お支払いした分配金		-200円
要因	株式	-275円
	米国	116円
	日本	-276円
	欧州	-113円
	その他株式	-2円
	その他（為替ヘッジプレミアム／コスト等を含む）	-34円
	小計	-309円
当月末基準価額		10,788円

※欧州には、ユーロ圏の他、英国とスイスが含まれます。
※要因分解は、概算値であり実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの内容

※下記データは全てマザーファンドの状況で、組入株式時価総額比です。
※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
※組入上位10銘柄の概要は、後述をご参照ください。

業種別構成比

業種別構成比		詳細(産業別構成比)	
エネルギー	0.0%	エネルギー	0.0%
素材	0.0%	素材	0.0%
資本財・サービス	33.5%	資本財	33.5%
		商業・専門サービス	0.0%
		運輸	0.0%
一般消費財・サービス	1.5%	自動車・自動車部品	0.0%
		耐久消費財・アパレル	0.0%
		消費者サービス	0.0%
		一般消費財・サービス流通・小売り	1.5%
生活必需品	0.0%	生活必需品流通・小売り	0.0%
		食品・飲料・タバコ	0.0%
		家庭用品・パーソナル用品	0.0%
ヘルスケア	7.2%	ヘルスケア機器・サービス	5.1%
		医薬品・バイオテクノロジー	2.1%
金融	0.0%	銀行	0.0%
		金融サービス	0.0%
		保険	0.0%
情報技術	55.8%	ソフトウェア・サービス	14.1%
		テクノロジー・ハードウェア	17.1%
		半導体・半導体製造装置	24.7%
コミュニケーション・サービス	2.0%	電気通信サービス	0.0%
		メディア・娯楽	2.0%
公益事業	0.0%	公益事業	0.0%
不動産	0.0%	エクイティ不動産投資信託	0.0%
		不動産管理・開発	0.0%

組入上位10通貨

アメリカドル	53.5%
日本円	25.6%
ユーロ	7.7%
新台湾ドル	6.7%
スイスフラン	3.7%
スウェーデンクローナ	2.8%

組入上位10ヵ国

アメリカ	50.2%
日本	25.6%
台湾	5.2%
ドイツ	4.8%
スイス	3.7%
スウェーデン	2.8%
オランダ	2.6%
ケイマン諸島	1.5%
アイルランド	1.5%
フランス	1.1%

規模別構成比

時価総額	比率
超大型株 (500億米ドル以上)	63.4%
大型株 (100億米ドル以上500億米ドル未満)	26.5%
中型株 (20億米ドル以上100億米ドル未満)	10.1%
小型株 (20億米ドル未満)	0.0%

組入上位10銘柄 (組入銘柄数：51銘柄)

	銘柄	国名	業種	比率
1	INTUITIVE SURGICAL INC / インテュイティブサージカル	アメリカ	ヘルスケア	5.1%
2	NVIDIA CORP / エヌビディア	アメリカ	情報技術	4.2%
3	SIEMENS AG-REG / シーメンス	ドイツ	資本財・サービス	3.8%
4	ROCKWELL AUTOMATION INC / ロックウェル・オートメーション	アメリカ	資本財・サービス	3.8%
5	ABB LTD-REG / ＡＢＢ	スイス	資本財・サービス	3.7%
6	キーエンス / -	日本	情報技術	3.7%
7	HEXAGON AB-B SHS / ヘキサゴン	スウェーデン	情報技術	2.8%
8	ANALOG DEVICES INC / アナログ・デバイセズ	アメリカ	情報技術	2.8%
9	TRIMBLE INC / トリンブル	アメリカ	情報技術	2.6%
10	三菱電機 / -	日本	資本財・サービス	2.6%

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

米国株式市場は、主要株価指数でみるとまちまちの展開となりました。新興人工知能（AI）企業の信用不安からAI投資の持続性に対する不透明感が強まったことなどから、ナスダック総合指数やS＆P500株価指数が下落した一方、ダウ平均株価は底堅く推移しました。セクター別では、原油高を背景にエネルギーや生活必需品などのディフェンシブ株へ資金がシフトしました。

欧州株式市場も、エネルギー価格の上昇に伴なうインフレ懸念や米国株安の影響を受け、上値の重い一進一退の展開となりました。半導体やハイテク関連株が米国市場に連れ安して売られた一方、エネルギーセクターやディフェンシブ銘柄が市場を下支えしました。金融政策では、下旬の欧州中央銀行（ECB）理事会で政策金利が据え置かれたものの、インフレ再燃への警戒感や一部ユーロ圏の財政・政治不安も重荷となり、全般に方向感を欠く月となりました。

10月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比マイナス3.49%となりました。月初は上昇する場面もありましたが、中旬以降はAIインフラへの巨額投資の収益化や投資の持続性に対する懸念が強まり、半導体関連株を中心に利益確定売りが広がりました。一方、市場全体では33業種中17業種が上昇するなど、内需株や一部の割安株には底堅さもみられました。

◎運用概況

10月の世界の株式市場は、まちまちな展開となりました。欧州株式市場では上昇する国がみられたものの、米国NASDAQ指数は下落が目立ちました。また、日本やアジアの大半の市場は大幅調整となりました。コアウィーブ・ショックや、ハイパースケーラーのキャッシュフロー悪化、米国中間選挙で共和党が苦戦しているとの観測からAI関連銘柄は反落しました。一方で、好調なファンダメンタルズを有するディフェンシブセクターへの資金ローテーションが生じました。

データセンター建設を取り巻く市場センチメントが悪化している一方、足元では半導体並びにデータセンター関連の設備産業で、需要が供給を上回る状況が続いており、各社の業績も前年同期に比べ大きく拡大しています。10月の株価下落により全体の割高感が解消され、個別には長期平均と比べ割安な水準となる銘柄も出てきています。米国中間選挙の結果および世界経済への影響については依然精査が必要で、ますます各社のファンダメンタルズの重要性が高まっています。今後も、バリュエーションと財務健全性を踏まえ、ポートフォリオ運営を行ないます。

◎今後の見通し

短期的には米国中間選挙の影響を含む地政学的情勢、金融政策、AI関連投資の方向性が市場の変動要因となる可能性が高いとみられますが、AIエージェントやフィジカルAIの社会実装は一層進むとの見通しは変わりません。AIがもたらす社会構造の変化と恩恵は大きく、生産性向上がオフィスや研究所に加え、工場や倉庫にも広がる見込みです。AI活用に必要な計算能力の需要も、年初の想定を大幅に上回り、データセンターやAI半導体関連設備への投資拡大が、サプライチェーン全体の供給能力の増強を促している状況が継続しています。今後はフィジカルAIの普及に向けてハードウェアの生産能力の重要性が高まっていく方向性にも引き続き注目しています。

関税政策に対する不透明感が出てきたものの、地政学的情勢を背景としたサプライチェーンの見直しは継続すると思われます。加えて、賃金インフレや移民規制の厳格化は、自動化・自律化を後押しする要因とみています。製造業の国内回帰を掲げる米政権の方針も、自動化投資の追い風となる見込みです。ロボティクス関連企業の中長期的な投資魅力は高まると考えており、投資機会の発掘とバリュエーション重視の運用を継続します。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考情報

※「組入上位10銘柄の概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
※記載の見解等は、ラザード社による作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

組入上位10銘柄の概要

1　INTUITIVE SURGICAL INC/インテュイティブサージカル
ロボット手術システムメーカーの世界最大手。主力の外科手術ロボット「ｄａ　Ｖｉｎｃｉ」は患者の負担が少ない低侵襲手術を実現する。各国でロボット手術の保険適用の拡大が進みつつある。

2　NVIDIA CORP/エヌビディア
米国の半導体メーカー。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を実現するＧＰＵ（グラフィックス・プロセッシング・ユニット）を開発、販売する。自動運転技術やデータセンターの高機能化の要となるＡＩ半導体に注力。

3　SIEMENS AG-REG/シーメンス
ドイツに本拠を置くテクノロジー会社で、主に製造業、インフラ、輸送、ヘルスケアなどの分野において、リアルとデジタルを融合したソリューションを提供。新たな動きとして、モノづくりに生成AIを導入する取り組みを促進。

4　ROCKWELL AUTOMATION INC/ロックウェル・オートメーション
ＦＡ（ファクトリーオートメーション）分野において機器だけでなくソフトウエア、システム、セキュリティ等のソリューションをトータルで提供する。幅広いエンドユーザー（最終顧客）を持ち、様々な分野でのオートメーション化の進展をカバーする。

5　ABB LTD-REG/ＡＢＢ
スイスに本社を置く重電、重工業メーカー。主力事業の一つであるオートメーション事業において工業・商業分野向けに自動化関連の製品（ロボット等）やシステム、ソフトウェアサービスを提供する。

6　キーエンス
ＦＡ（ファクトリーオートメーション）向けセンサーを主力とするメーカー。ロボティクス分野の多くの場面で重要な役割を果たすセンサーをコンサルティング営業で提供する。

7　HEXAGON AB-B SHS/ヘキサゴン
測定機器の世界最大手。自動車やエレクトロニクスをはじめ幅広い製造業向けに測定用ハードウェアやソフトウェアだけでなく、生産性向上や品質向上のためのソリューションをグローバルで提供する。

8　ANALOG DEVICES INC/アナログ・デバイセズ
アナログ、ミックスドシグナル、デジタル信号処理技術を中心とする米国の半導体メーカー。データコンバータ、アンプ、パワーマネジメント、センサー、ＲＦ／マイクロ波デバイスなどを産業機器、自動車、通信、データセンター、ヘルスケア、民生などに供給。

9　TRIMBLE INC/トリンブル
GNSS機器や測量機器、ソフトウェアの提供を通じて農業、建設、土木、輸送などにおけるマシンコントロール技術で自動化を支援。社会インフラの構築や保守管理需要における人手不足の解消に寄与するソリューション提供からの成長が期待される。

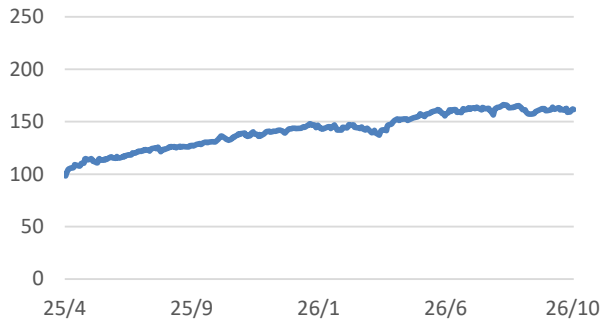
10　三菱電機
日本の大手総合電機メーカー。ＦＡ（ファクトリーオートメーション）、自動車機器、昇降機などを主軸とするとともに、パワー半導体や、空調などの家電などにも注力する。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

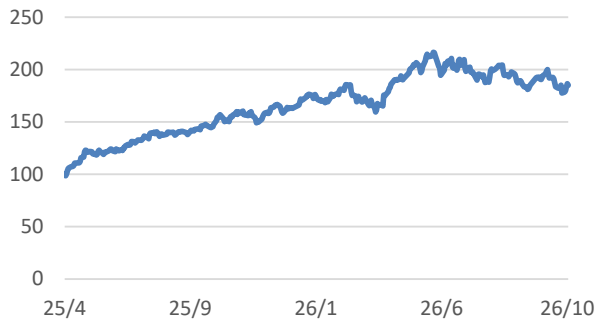
ご参考情報

●グローバル・ロボティクス株式ファンド（予想分配金提示型）

MSCI-WORLDインデックス
（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）



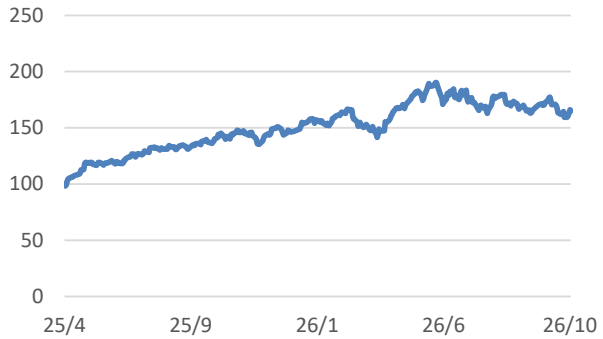
ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数
（税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース）



※上記グラフの指数は当ファンドのベンチマークではありません。
※上記グラフは、当ファンドの設定時を100として作成日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。
※ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、グローバル・ロボティクス株式ファンド（予想分配金提示型）の参考指数です。アモーヴァ・アセットマネジメントが円換算しています。

●グローバル・ロボティクス株式ファンド（為替ヘッジあり・予想分配金提示型）

ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数
（税引後配当込み、円ヘッジあり、円ベース）



※上記グラフの指数は当ファンドのベンチマークではありません。
※上記グラフは、当ファンドの設定時を100として作成日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。
※ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（税引後配当込み、円ヘッジあり、円ベース）は、グローバル・ロボティクス株式ファンド（為替ヘッジあり・予想分配金提示型）の参考指数です。

※MSCI-WORLDインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。
※ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（税引後配当込み、円ヘッジなし、円ベース）、ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（税引後配当込み、円ヘッジあり、円ベース）は、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はVettaFiに帰属します。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1 世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行ないます。

■今後の成長が期待されるロボティクス関連企業の株式を中心に投資を行なうことにより、中長期的な信託財産の成長をめざします。
■産業用やサービス用などのロボットを製作する企業のみならず、ロボット関連技術であるAI（人工知能）やセンサーなどの開発に携わる企業も投資対象とします。

2 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。

■株式運用に強みを持つ米国の資産運用会社、ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー（ラザード社）が「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」の運用を行ないます。

3 毎月決算を行ないます。お客様の運用ニーズに応じて、為替ヘッジの有無をお選びいただけます。

■毎月15日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とし、収益分配方針に基づいて収益分配を行ないます。
■各計算期末の前営業日の基準価額（支払済み分配金（1万口当たり、税引前）累計額は加算しません。）に応じて、原則として、以下の金額の収益分配を行なうことをめざします。

各計算期末の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

●分配金額は、毎決算時に、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合や、基準価額水準、市場動向などによっては、委託会社の判断により上記とは異なる分配金額となる場合や、分配を行なわない場合もあります。
●基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を行なうというものではありません。
●分配金が支払われた場合、その金額相当分、基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。
●あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

■外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行なわない「予想分配金提示型」と、原則として為替ヘッジを行なう「為替ヘッジあり・予想分配金提示型」があります。
※為替ヘッジによって為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、対象通貨の短期金利より円の短期金利が低い場合には、為替ヘッジコストがかかります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2035年7月13日まで（2025年4月22日設定）
決算日	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※各ファンドは、NISAの対象ではありません。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.85%（税抜3.5%）以内 ※購入時手数料（スイッチングの際の購入時手数料を含みます。）は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 ≪ご参考≫ （金額指定で購入する場合） 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額（お支払いいただく金額）となるよう購入口数を計算します。 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料（税込）をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。 ※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 （口数指定で購入する場合） 例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.85%（税込）で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額＝（10,000円／1万口）×100万口＝100万円、購入時手数料＝購入金額（100万円）×3.85%（税込）＝38,500円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万8,500円をお支払いいただくことになります。 ※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

運用管理費用 （信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.936%（税抜1.76%）
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬（有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.55（税抜0.5）を乗じて得た額）などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕www.amova-am.com 〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

お申込みに際しての留意事項

○リスク情報
投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】
・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
【流動性リスク】
・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
【信用リスク】
・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
【為替変動リスク】
◆「予想分配金提示型」
・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
◆「為替ヘッジあり・予想分配金提示型」
・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴なうヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。
【有価証券の貸付などにおけるリスク】
・有価証券の貸付行為などにおいては、取引相手先リスク（取引の相手方の倒産などにより貸付契約が不履行になったり、契約が解除されたりするリスク）を伴ない、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。貸付契約が不履行や契約解除の事態を受けて、貸付契約に基づく担保金を用いて清算手続きを行なう場合においても、買戻しを行なう際に、市場の時価変動などにより調達コストが担保金を上回る可能性もあり、不足金額をファンドが負担することにより、その結果ファンドに損害が発生する恐れがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

〇その他の留意事項
・当資料は、投資者の皆様に「グローバル・ロボティクス株式ファンド（予想分配金提示型）／（為替ヘッジあり・予想分配金提示型）」へのご理解を高めていただくことを目的としてアモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は　アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

販売会社

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは
※下記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

●グローバル・ロボティクス株式ファンド（予想分配金提示型）

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3283号	○	○		○
岡三ビジネス&テクノロジー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第170号	○	○		
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第5号	○	○		
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第65号	○			○
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第7号	○			
浜銀ＴＴ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○			
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第20号	○			

●グローバル・ロボティクス株式ファンド（為替ヘッジあり・予想分配金提示型）

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3283号	○	○		○
岡三ビジネス&テクノロジー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第170号	○	○		
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第5号	○	○		
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第65号	○			○
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第20号	○			

収益分配金に関する留意事項

収益分配金に関する留意事項

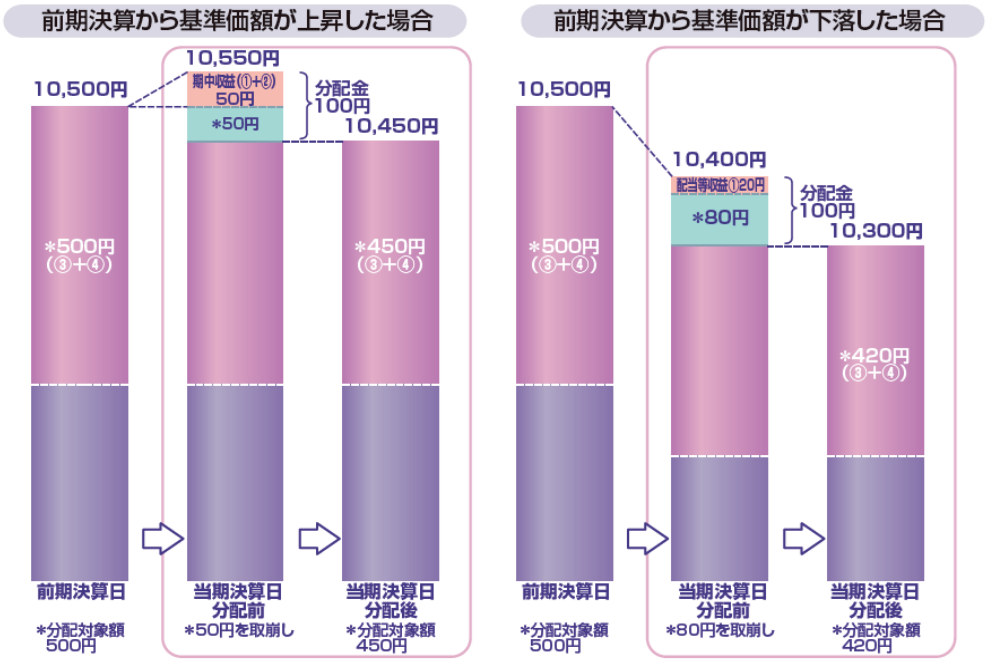
●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



●分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

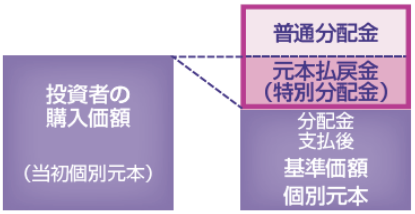
計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



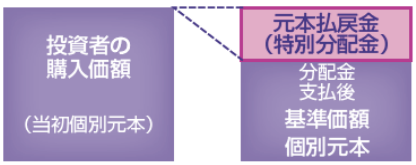
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。
また、元本払戻金（特別分配金）部分は**非課税扱い**となります。

・普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。